

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

- 1 私たちは、崇高な使命感を持って教育にあたります。
- 2 私たちは、後姿で生徒に手本を示します。
- 3 私たちは、法規・法令を遵守します。

不祥事根絶のための行動計画

北広島町立芸北中学校  
作成責任者 校長 細田充裕

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員一人一人が服務研修を担当し、規範意識の向上が図られているが、継続的な服務研修が必要である。</li> <li>○当事者意識を高める研修として改善されてきたが、更なる充実が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今年度も継続して、教職員一人一人が服務研修を担当することにより、教職員の規範意識を高める。</li> <li>○服務研修の方法や内容等を見直し、各人の体験や感じたことを出し合うことで、当事者意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボトムアップの研修を計画し実施する。パワーハラスメントをはじめとするハラスメントの研修を実施し、根絶を図る。</li> <li>○具体的な不祥事事案の要因や背景、影響等に関わるグループ協議を取り入れたり、ロールプレイを用いたりする研修を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○每学期末にチェックリストを用いて、規範意識を相互に点検する。</li> <li>○研修計画に基づき、服務研修を実施する。緊急を要することが生じ、服務研修が実施できなかった場合は、当該学期内に実施する。</li> </ul>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人で責任を感じるのではなく、学校全体として取り組んでいるという認識を強め、孤立感や負担感を軽減する。</li> <li>○教職員の退校時刻が遅くなり、疲労やストレスが蓄積している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報告・連絡・相談・記録・確認を徹底し、学校全体で仕事を進める。</li> <li>○勤務終了後は、可能な限り速やかに退校し、ワークライフバランスの推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年会、分掌部会等において、互いの仕事の進捗状況を確認し、決まった者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。</li> <li>○一斉定時退校日を設定し、緊急時以外は18時までには退校する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月、衛生委員会で情報の収集を行い、教職員の勤務状況を把握する。</li> <li>○月末に入退校記録簿で点検し、定時退校の達成状況を確認する。</li> </ul>
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お互いに自分自身の思いを安心して出せる職員室の雰囲気づくりを、更に進める必要がある。</li> <li>○保護者・生徒への相談窓口の周知が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。</li> <li>○相談しやすい体制をつくり、相談窓口の周知を繰り返す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年会、分掌部会等において、また、管理職も含め、お互いに率直な思いや意見を出し合う。</li> <li>○保護者が来校する日には、受付に相談窓口のパンフレットを掲示するとともに、適宜、学校便り等で保護者に周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月、不祥事防止委員会で情報の収集を行い、校内の状況を把握する。</li> <li>○每学期末に生徒、保護者を対象としたアンケートを実施する。</li> </ul>